

社団法人 西大寺青年会議所 広報誌

SAIDAIJI JC REPORT

2005年度スローガン

Get the future

～気があればできる～

2005 年度卒業式



「卒業にあたって」 近藤友一

3年6ヶ月と短い間ではございましたが、皆さんありがとうございました。

入会のきっかけ水野さんに誘われて何も解らない入会しました。

JCI クリッド・JC 宣言などがあり「宗教がかっているのか??？」と思った時もありました。しかし、その後自分の会社においても理念・方針等の必要性を感じこれがJCでは理念

に当たるのだと後で納得した覚えもあります。

私にとってJCは、短い間だったから余慶思うのかもかもしれませんが、本当によい修練の場だったと思います。沢山の友もでき人との接し方・お礼文の出し方等企业人としてしなければいけない事も多く学べました。それに岡山ブロックにも出て大小含めたさまざまな企業人との出会いも多く私にとって良い刺激を与えてくれました。

現役の皆さんも今一度自分を振り返って来年度それぞれの役職があると思いますので自分の思いを入れ込んで頑張ってください。



「卒業にあたって」 茂成 潤

今年で、13年のJC運動にピリオドをうって、無事に卒業させていただくことが出来そうです。大袈裟に聞こえるかもしれませんが、無事にJCをやり遂げることが、どれ程恵まれているかということ、ひしひしと感じる出来事がこの13年間で、何度もありました。

神宝謙一先輩が理事長をされた平成5年に入会させ

ていただいて以来、13年の間にお会いすることの出来た、(社)西大寺青年会議所及び岡山県内各地青年会議所の先輩方、現役会員の皆さん、関係者の方々、地域の方々、本当にお世話になりました。心から御礼申し上げます。皆さんと知り合うことが出来たことが、私の財産です。

今年、(社)日本青年会議所の高竹会頭が、JCしかない時代から、JCもある時代になったと、おっしゃいました。確かに今はJC以外にもいろいろな団体があって、それぞれに特徴のある活動をされています。その中で、JCで何かを学んだり友達を作るとは、他の団体に比べると、時間もお金も掛かると思います。それは、講演会を聞くだけの勉強ではないし、名刺交換会や懇親会だけで知り合う友達ではないからです。多くの仲間たちと一緒に汗を流し力を合わせ、何か事業をやり遂げた時に得られる教訓と、それによって得られる友達、そしてその積み重ねこそが、JCの価値であると思いますし、そうして遠回りをして得られた、教訓や友達というものは、なかなかすぐには失われるものではないと思います。得がたきものは、失いがたしということです。

現役会員の皆さん、今は、西大寺JCの会員数も以前に比べると少なくなって、残られる皆さんには、いろいろなご苦労もあることと思います。また、2006年の6月には岡山ブロック会員大会の主管という大きな事業もあります。しかし、こんな時こそ、会員全員で力を合わせて一つの目標に向かって突き進むことで、JCでなければ得ることの出来ないすばらしい成果を、会員全員が得ることが出来ると思います。こじんまりとまとめようとするのではなく、空よりも高い目標を掲げて、がんばってください。いつも、応援しています。

岡山県内各地青年会議所の皆さん、関係者、地域の皆様、後輩たちをどうぞよろしく願い致します。



「卒業にあたって」 歳森 宏

入会してから17年になります。本当に長い間身体も家庭も会社もよくもったなあと言うのが率直な感想です。文化講演会の時の対外誌をみて当時のメンバーの方に「JCってどんな団体？」って聞いただけで翌日執行部の方が数名こられてあつという間に入会。

いきなり京都会議や少年はだか祭りの「こりとり場警備」などなど6年前に理事長になるまでは全力疾走と言う感じでした。

その間に結婚し、子供が生まれ親父が亡くなり代理店である自社の合併があったり本当に長い時間があつという間に過ぎてしまったような気がします。その中でJCで教わったことも多くリーダーシップやそのノウハウ、また多くの出会いによる友情。一緒に汗を流し悩みをわかちあい経験してきたことが自分にとって本当にかげがいのない財産となっています。卒業してからも会員の皆さんはじめ、お世話になった皆さんへ少しでも恩返しができると思います。ありがとうございました。



「卒業にあたって」 水野隆一郎

31歳でJCに入会して9年間、長いようで短い時間でした。30代というのは人生の中で

変化と成長の時ではないかと思います。そういう時期にJCでいろいろな経験ができ、多くのことを学ぶことができました。アテネオリンピック男子ハンマー投げで金メダルを獲得した室伏選手が「自分自身を磨き、自分の限界を超えることにワクワクする」と語っていましたがJCでも自分自身の成長

を実感し、同じような思いを経験することができると思います。JCのいいところは失敗したり、思うようにいかなかったりする中で自分には無い能力や才能を持った人にめぐり合うことができることです。そこでの気づきと反省は必ず自身の成長につながります。最後になりましたが9年間でほんとうに多くのOBやメンバーの方々と知り合えたことに感謝を申し上げます。

発行日	平成17年 11月10日
発行責任者	山根 祐一
編集責任者	麻岡 正義
発行所	社団法人西大寺青年会議所